

集中日本語 Intensive Japanese 1-3

平田 泉 ・ 尾崎 久美子

国際基督教大学は 1953 年、留学生の受け入れに伴い日本語教育を開始したが、その創設当初から日本語の集中コースを開講し、現在に至っている。本稿では、主にここ 10 年間の集中コースについて報告したい。

1. コースの編成・スケジュール・単位数

1953 年の開設時には、1 年間 4 学期（春学期・夏学期・秋学期・冬学期）で集中コースを行い、上級までをカバーしていたが、1955 年度より 9 月に留学生を受け入れることとなったため、集中コースが秋学期にスタートする制度が開始された。これは 1 年間 5 学期のコースで、初めの 1 年（秋学期・冬学期・春学期）で初級・中級レベルを、次の 2 学期（秋学期・冬学期）で上級レベルを網羅するコースであった。この流れは現在も踏襲されている。1970 年代半ばより集中コース Intensive Japanese（コースの日本語名は「日本語集中教育」）I, II, III はそれぞれ 12 単位のコースで、さらに Comprehension（理解）、Speaking（話し方）、Structure（構文）、Reading & Writing（読み方・書き方）（各 3 単位）と 4 つにわかれて成績が出されるようになった。学生は 4 つを同時に履修することになっていた。（1990 年代の初めには、「読み書き」のみの履修を認めた時期もあったが、4 技能を均等にレベルアップしていく教育的観点から、すぐに全てのコースを履修することが必修となった。）当初、集中コースは各学期に 1 コースずつ（秋学期に I〔初級〕、冬学期に II〔中級前半〕、春学期に III〔中級後半〕）出されていたが、1986 年秋学期より、秋学期に I と II、冬学期に II と III、春学期に III というように、平行して 2 つの集中コースを出すようになり、学生は 9 月の入学時に中級レベルからのスタートが可能となった。（この年、1986 年度より、JLP のコースは、カレッジワイド・プログラム College-wide Program となった。それまでは、語学科のコースとして出されていた。）

1995 年秋学期、日本語シリーズの改編（それまでの Japanese I-VI の 6 コースが、7 コース Japanese I-VII に変わった）に伴い、集中コースも大幅に改編された。コースは Content（会話・文法・購読）、Aural（聴解）、Writing（書き方）の 3 つにわかれて成績が出されるようになり、それまで I から III まで同じだった 1 週間のコマ数が、I は週 22 コマ、II と III は週 15 コマとなった。ここまでのコースの編成・スケジュール・単位数等をまとめると次のようになる。

1-1. 1970年代～1995年春学期

Intensive Japanese のコース編成・単位数			
I	12 単位	Comprehension, Speaking, Structure, Reading & Writing 各 3 単位	Japanese I, II, III に相当
II	12 単位	Comprehension, Speaking, Structure, Reading & Writing 各 3 単位	Japanese IV, V の前半に相当
III	12 単位	Comprehension, Speaking, Structure, Reading & Writing 各 3 単位	Japanese V の後半, VI に相当

Intensive Japanese の 1 週間のスケジュール (網掛けの部分が授業時間)

1970 年代～1985-6 年 冬学期

	月	火	水	木	金
I					
II					
III					
IV					
V					
VI					
VII					

授業は週 2 3 コマ。月・木の 6 時限目は

「Clinic」と称する個人指導の時間。

1986 春学期～1988-9 年 冬学期

	月	火	水	木	金
I					
II					
III					
IV					
V					
VI					
VII					

授業は週 2 2 コマ。

1989 年 春学期～1989-90 年 冬学期

	月	火	水	木	金
I					
II					
III					
IV					
V					
VI					
VII					

授業は週 2 3 コマ。

1990 年 春学期～1995 年 春学期

	月	火	水	木	金
I					
II					
III					
IV					
V					
VI					
VII					

授業は週 2 2 コマ。

1 - 2. 1995 年秋学期～2000 年春学期

Intensive Japanese のコース編成・単位数			
I	15 単位	Content 8 単位, Aural 3 単位, Writing 4 単位	Japanese I, II, III に相当
II	10 単位	Content 6 単位, Aural 2 単位, Writing 2 単位	Japanese IV, V に相当
III	10 単位	Content 6 単位, Aural 2 単位, Writing 2 単位	Japanese VI, VII に相当

Intensive Japanese の 1 週間のスケジュール（網掛けの部分が授業時間）

1995 年秋学期～2000 年春学期

I

	月	火	水	木	金
I					
II					
III					
IV					
V					
VI					
VII					

授業は週 2 2 コマ。

II と III

	月	火	水	木	金
I					
II					
III					
IV					
V					
VI					
VII					

授業は週 1 5 コマ。

2000 年度、大幅な J L P のカリキュラム改編が行われ、その秋学期より集中コースは Speaking & Listening（会話・聴解）、Reading & Writing（読解・書き方）の 2 つにわかれて成績を出すようになった。I、II、III の各コースとも週 2 0 コマとなり、I と II の前半で初級をカバーし、II の後半と III で中級をカバーするようになった。（同時に日本語シリーズでは I ～ VII だった 7 レベルのコースが、I ～ VI までの 6 コースとなった。）集中コースの I は「読み・書き」より「聞く・話す」に比重を置き、II、III と進むに従って、より「読み・書き」に比重を置くようにカリキュラムが組まれた。コース編成・スケジュール・単位数等は次のとおりである。

1－3. 2000 年秋学期～現在

Intensive Japanese のコース編成・単位数			
I	12 単位	Speaking & Listening 8 単位, Reading & Writing 4 単位	Japanese I, II に相当
II	12 単位	Speaking & Listening 6 単位, Reading & Writing 6 単位	Japanese III, IV, に相当
III	12 単位	Speaking & Listening 4 単位, Reading & Writing 8 単位	Japanese V, VI に相当

Intensive Japanese の 1 週間のスケジュール（網掛けの部分が授業時間）

2000 年秋学期～現在

I

	月	火	水	木	金
I					
II					
III					
IV					
V					
VI					
VII					

授業は週 20 コマ。

II と III

	月	火	水	木	金
I					
II					
III					
IV					
V					
VI					
VII					

授業は週 20 コマ。

尚、大学の授業時間は、次のように変わった。（原則的に 1 授業時間は 70 分である。）

	89 年冬まで
I	8:30-9:40
II	9:50-11:00
III	11:10-12:20
IV	1:10-2:20
V	2:30-3:40
VI	3:50-5:00
VII	5:10-6:20

	90 年春～
I	8:30-9:40
II	9:50-11:00
III	11:10-12:20
IV	1:30-2:40
V	2:50-4:00
VI	4:10-5:20
VII	5:30-6:40

	03 年春～
I	9:00-10:10
II	10:20-11:30
III	11:40-12:50
IV	1:40-2:50
V	3:00-4:10
VI	4:20-5:30
VII	5:40-6:50

2. コースの内容

よりよい結果を生み出す効果的な日本語教育プログラムを目指し、1999年12月にはプログラム全体にわたり、その性格、目的、構成、教材、クラス活動、評価法など、様々な視点から検討が重ねられた。その結果、インテンシブコースのカリキュラムに関しては、次のような方向が打ち出された。

2-1. コースの目的

インテンシブコースの目的は、学習者が学究に必要な日本語を身につけることを目的とする。すなわち、インテンシブⅠ、Ⅱ、Ⅲ、および、それに続く上級日本語を終了した後、日本語で行われる大学の授業が受講できる日本語能力を身につけることである。

2-2. 扱う技能

4技能をバランスよく伸ばす教育を行うが、レベルが上がるに従い、話し言葉から書き言葉へと比重を移していく。しかしながら、書き言葉への比重が高くなっても、話し言葉が軽視されるわけではない。

2-3. インテンシブⅠ・Ⅱ・Ⅲの基本的性格とコマの内訳

コース	レベル	基本的性格
インテンシブⅠ (Int. Ⅰ)	初級 (J1+J2に相当)	話し言葉を中心とし、正確さ・適切さを重視、 言語運用能力を高める。
インテンシブⅡ (Int. Ⅱ)	初級～中級 (J3+J4に相当)	前半 (J3) 話し言葉を中心とし、正確さ・適切さを重視、 言語運用能力を高める。 後半 (J4) 話し言葉から書き言葉への橋渡しを行う。
インテンシブⅢ (Int. Ⅲ)	中級 (J5+J6に相当)	書き言葉を増やし、上級への橋渡しを行う。

上記の基本的性格を踏まえ、以下のものを各コースのコマの基本的な内訳とする。

コース	コマの内訳	注
Int. I	Speaking & Listening (文法を含む) Formation & Drills 4 コマ Roleplays 1 コマ Listening activities 1 コマ Reading & Writing Reading 1 コマ 漢字 1 コマ テスト 1 コマ 個人指導 1 コマ 計 10 コマ	1) 主となる教科書: “Japanese for College Students: Basic, Vol. 1 & 2” 2) 進度: 1 課を 10 コマで行い、週 2 課ずつ進む。 3) 話し言葉と書き言葉の時間配分は 6 : 4 である。
Int. II	前半 (J3) Speaking & Listening (文法を含む) Formation & Drills 4 コマ Roleplays 1 コマ Listening activities 1 コマ Reading & Writing Reading 1 コマ 漢字 1 コマ テスト 1 コマ 個人指導 1 コマ 計 10 コマ 後半 (J4) 教科書: 漢字 1 コマ 語彙・文型 (口頭練習) 1 コマ 読解 2 コマ 話す (読後の discussion) 1 コマ 自由 (話す活動) 1 コマ 教科書からはなれて: 作文 1 コマ 聴解 1 コマ	前半 (J3) 1) 主となる教科書: “Japanese for College Students: Basic, Vol. 3” 2) 進度: 1 課を 10 コマで行い、週 2 課ずつ進む。 3) 話し言葉と書き言葉の時間配分は 6 : 4 である。 後半 (J4) 1) 主となる教科書: 『ICU 中級日本語 1』 または、その他市販の教材 2) 進度: 1 課を 10 コマで行い、週 2 課ずつ進む。 3) 話し言葉と書き言葉の時間配分は 5 : 5 である。

	話し方	1 コマ	
	読解 (速読／応用)	1 コマ	
	計	1 0 コマ	
Int. III	教科書		1) 主となる教科書：『ICU 中級日本語 2、3』または、その他市販の教材
	漢字	1 コマ	2) 進度：1 課を 1 0 コマで行い、週 2 課ずつ進む。
	語彙・文型 (口頭練習)	1 コマ	3) 話し言葉と書き言葉の時間配分は 4 : 6 である。
	読解	2 コマ	
	話す (読後の discussion)	1 コマ	
	自由 (書く活動)	1 コマ	
	教科書から離れて		
	作文	1 コマ	
	聴解	1 コマ	
	話し方	1 コマ	
	読解 (速読／応用)	1 コマ	
	計	1 0 コマ	

上記の表、注 2) に示されるように、インテンシブコースの時間数は J コースの 2 倍、従って、その進度は 2 倍と考えられるが、この点に関しては注意が必要である。インテンシブ I では、J1 での 1 0 課、J2 での 1 0 課、計 2 0 課、2 学期分を 1 学期で必ず終わらなければならない必要性から、物理的に 2 倍の速さで進まねばならない。しかし、中級では、初級以上に予習や自立学習（「自らが何を学ばなければならないか、どのように学ぶのかが分かり、それを実践すること」）の比重が高く、「インテンシブ」という言葉が冠されていない J4、J5、J6 においても、実質的に intensive な学習を要求している。そのため、単純に、Int. II・Int. III に、J4・J5・J6 で行われるクラス活動や予習・復習および自立学習の 2 倍を要求することは、物理的に難しい。そこで、2 0 コマの使い方は、J コースと全く同じ内容のものを 2 倍の速さで行うのではなく、主となる教科書に関するクラス活動等は J コースと同様のものを行う一方、in-class で完結しなおかつ学習効果の高い教授法や教材の工夫、個人指導を行うなど、Intensive 独自のクラス活動の方法を組み合わせ、1 週間 2 0 コマを有効に使うことが重要である。

中級のクラス活動のコマ割りは、読み書くものが多いが、インテンシブコースが「扱う技能」の項で述べた通り、読み書く能力だけではなく、聴き話す能力を高めることをも意図されており、この中級のコマ割りは、4 技能が平均してのばせるために最適であるという判断に立ち、考え出されているのであって、聴き話すことをないがしろにしているのではないことを学習者が理解することが不可欠である。同時に、クラス活動は、聴き話すことが積極的に行われるようにデザインされなければならない。

2-4. 評価

評価法は、日常の学習形成をチェックし学習を支援するものとしてのクイズや、最終的な到達度を判断する中間試験や期末試験など、目的によってその方法が異なる。これらの方法を適切に組み合わせて、評価の精度を高めることを目指す。また、「実施したクイズや提出物の全てを必ずしも成績評価の対象にする必要はない。なぜなら、クイズや提出物による学習を通して伸びた能力が各種試験に反映されるからである」という見方も可能である。

2-5. 使用主教材、クラス活動、評価の実際

1995年から現在までの①使用主教材、②1課を構成するクラス活動項目、③評価項目を、ICU日本語教育プログラムの最も新しいレビューが行われた1999年末を軸に、(1)1995年秋学期から2000年春学期、(2)2000年秋学期から現在の2期に分け、インテンシブⅠ、インテンシブⅡ、インテンシブⅢの各コース毎にまとめる。

② 使用主教材

《 インテンシブⅠ 》

(1) 1995年秋学期から2000年春学期	(2) 2000年秋学期-現在
<p>1995年秋学期-1997年秋学期</p> <p>“Japanese for University Students Today”</p> <p>(“Japanese for College Students: Basic, Vol. 1, 2, 3”の試用版)</p> <p>1998年秋学期-1999年秋学期</p> <p>“Japanese for College Students: Basic, Vol. 1, 2, 3” (講談社インターナショナル)</p>	<p>“Japanese for College Students: Basic, Vol. 1, 2”</p> <p>(講談社インターナショナル)</p>

《 インテンシブⅡ 》

(1) 1995年秋学期から2000年春学期	(2) 2000年秋学期-現在
<p>1995年秋学期-1996年冬学期</p> <p>『ICU 中級日本語 I』</p> <p>(ICU が作成中の中級教科書試用版)</p>	<p>コース前半</p> <p>“Japanese for College Students: Basic, Vol. 3”</p>

1997 年秋学期-1999 年秋学期 『ICU 中級日本語 1、2』 (『ICU 中級日本語 I、II』の改訂版)	コース後半 (a)『ICU 中級日本語 1』(改訂試用版) または、 (b) 市販教科書 『テーマ別 中級から学ぶ日本語』(研究社) 『「読み」への挑戦』(くろしお出版) 等
--	--

《 インテンシブⅢ 》

(1) 1995 年秋学期から 2000 年春学期	(2) 2000 年秋学期-現在
1996 年春学期 『ICU 中級日本語 II』 (ICU が作成中の中級教科書試用版) 1996 年冬学期-1999 年冬学期 (a)『ICU 中級日本語 3、4』 (『ICU 中級日本語 I、II』の改訂版) または、 (b) 市販教科書 『テーマ別 中級から学ぶ日本語』(研究社) 『テーマ別 上級で学ぶ日本語』(研究社) 『中級から上級への日本語』(The Japan Times) 等	(a)『ICU 中級日本語 2、3』 (『ICU 中級日本語 1、2、3、4』の改訂版) または、 (b) 市販教科書 等 『テーマ別 中級から学ぶ日本語』(研究社) 『テーマ別 上級で学ぶ日本語』(研究社) 『中級から上級への日本語』(The Japan Times) 『中・上級日本語教科書 日本への招待』 (東京大学出版会) 『学問のすすめ』福澤諭吉(抜粋) 『女大学評論』福澤諭吉(抜粋) 『新女大学』福澤諭吉(抜粋) 等

② 1 課を構成するクラス活動 および ③ 主要な評価項目の例

《 インテンシブⅠ 》

	1995 年秋学期-99 年秋学期 (週 22 コマ)	2000 年秋学期-現在 (週 20 コマ)
②	Formation Drills Reading Roleplays 漢字 Listening Comprehension Model Roleplays	Formation Drills Roleplays Reading Writing (漢字を含む) Listening Speaking

③	<p>Content:</p> <p><u>Structure:</u></p> <p>Grammar Tests</p> <p>Grammar Quizzes</p> <p>Grammar Exercises</p> <p><u>Comprehension:</u></p> <p>Reading Comprehension Tests</p> <p><u>Speaking:</u></p> <p>Roleplay Tests</p> <p>(Attendance & Participation)</p> <p><u>Writing:</u></p> <p>漢字 Tests</p> <p>Composition</p> <p>ひらがな／カタカナ Quizzes</p> <p>(Attendance & Participation)</p> <p><u>Aural:</u></p> <p>Listening Comprehension Tests</p> <p>Activities on VCR,</p> <p>(Attendance & Participation)</p>	<p>Speaking & Listening:</p> <p>Lesson Tests (grammar, vocabulary)</p> <p>Interview Tests</p> <p>Model Roleplays Recitation</p> <p>Comprehension Test (Final exam)</p> <p>Vocabulary Quizzes</p> <p>Grammar Quizzes</p> <p>Worksheets & Quizzes on VCR</p> <p>Reading & Writing:</p> <p>Lesson Tests (漢字の読み書き)</p> <p>漢字 Quizzes</p> <p>Dictation Quizzes (Formation)</p> <p>Composition</p>
---	---	--

《 インテンシブⅡ 》

	1995 年秋学期－99 年秋学期 (週 15 マ)	2000 年秋学期－現在 (週 20 コマ)	
②	<p>漢字・語彙</p> <p>文型・文法</p> <p>購読／読解</p> <p>練習問題 (語彙・文法・表現)</p> <p>聴解</p> <p>会話</p> <p>書き方 (作文など)</p> <p>話し方</p> <p>速読</p>	前半 (J4)	後半 (J5)
		Formation	漢字・語彙
		Drills	文法・文型
		Roleplays	購読
		Reading	漢字
		漢字・語彙	話す
		文法練習	聴く
		Listening	書く (作文等)
		Speaking	速読
		Writing (作文)	総合活動＊
		総合活動＊	

③	<p>Content:</p> <p>会話-授業、発表 インタビューテスト 文法-テスト、クイズ 講読-テスト、出席と熱心さ</p> <p>Writing:</p> <p>作文、漢字テスト、クイズ</p> <p>Aural:</p> <p>テスト、ワークシート</p>	<p>Speaking & Listening:</p> <p>レッスンテスト、読解テスト インタビューテスト 文法構文クイズ Model Roleplay Recitation Speaking Assignment (Performance)</p> <p>Reading & Writing:</p> <p>レッスンテスト、読解テスト 漢字語彙クイズ、語彙クイズ 速読タスク、作文（宿題）</p>
---	---	---

*総合活動の例：

- ◎ インタビュー・プロジェクト（インタビュー調査から口頭発表・レポート作成へ）
- ◎ 見学からレポート・ハンドブック作成へ
- ◎ スキット作成から上演へ
- ◎ 紙芝居上演
- ◎ パワーポイントを使って発表へ

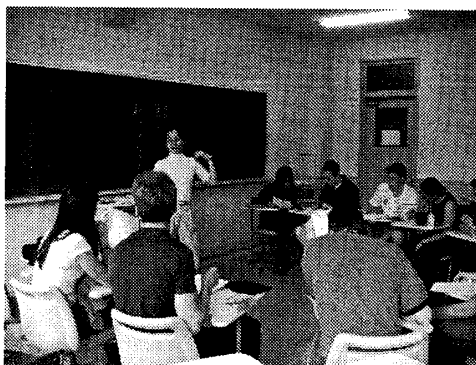
《 インテンシブⅢ 》

	1996 年春学期－99 年春学期（週 15 コマ）	2000 年冬学期－現在（週 20 コマ）
②	<p>漢字・語彙 文法・文型 購読 会話 練習問題（語彙・文法・表現） 書き方 速読 聴解 話し方 総合活動*</p>	<p>漢字・語彙 文型・文法 購読 話し方 聴解 書き方（作文等） 速読 総合活動*</p>

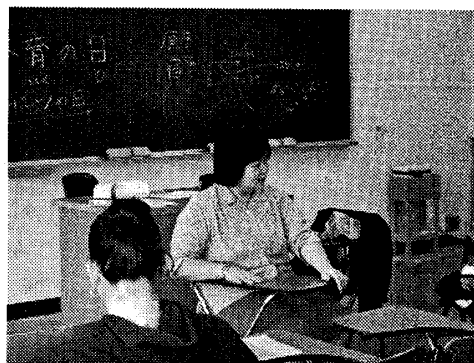
③	<p>Content:</p> <p>会話-授業、単語テスト、発表、 インタビューテスト</p> <p>文法-テスト、クイズ</p> <p>講読-テスト、出席と熱心さ</p> <p>Writing:</p> <p>作文、漢字テスト、クイズ</p> <p>Aural:</p> <p>テスト、ワークシート</p>	<p>Reading & Writing:</p> <p>レッスンテスト (漢字・文法・読解)</p> <p>期末テスト (漢字・文法・読解)</p> <p>漢字クイズ、文法文型クイズ</p> <p>作文、速読、宿題 (予習シート等)</p> <p>Speaking & Listening:</p> <p>Allotted Tests (Speaking、聴解テスト)</p> <p>期末試験 (Speaking、聴解テスト)</p> <p>総合活動 (プロジェクト)</p> <p>聴解ワークシート</p> <p>宿題</p>
---	--	---

* 総合活動の例：

- ◎ インタビュー調査から口頭発表・レポート作成へ
- ◎ 課題を調べて発表へ
- ◎ 母語での演劇のシナリオを和訳し上演へ



平田 泉



尾崎 久美子

授業風景 (2003 年秋学期)